

# 篠田桃紅美術空間からの お知らせ

市制60周年(合併5周年)記念

「仙厓—ユーモアあふれる禅画

武芸川ふるさと館所蔵による」展

仙厓は、現在の関市武芸川町生まれですが、美濃の清泰寺で出家し、僧侶となった後、40歳で博多・聖福寺の住職となります。63歳に住職としての重責を弟子に譲り、虚白隠に隠居してからの約30年間は、現在の福岡県にあたる筑前国を中心に、九州北部に残る名所・旧跡を訪ね歩き、旅で出会った風景を絵画に残しています。

なかでも、聖福寺からそれほど遠くない箱崎は、白砂青松の浜辺の美しさで特に有名で、仙厓にとつて非常に身近でお気に入りの場所でした。そのため、仙厓は箱崎浜を題材にした作品を数多く残しています。

作品「箱崎灯台画賛」もそのような作品の一つです。風景は月明かりの下、手



掲載図版 「箱崎灯台画賛」

前の松林から箱崎宮の鳥居、そして常夜灯が描かれ、その向こうに広がる海原がさらに向こうの中国大陸まで広がっている雄大な情景を連想させる歌が賛として添えられています。

秋の夜八 唐まで 月の外に 又

本展では、市制60周年を記念して、武芸川ふるさと館所蔵の仙厓作品18点を展示し、今日に至るまでその人柄とともに多くの人々に愛されてきた仙厓の芸術を紹介いたします。

また今年6月に行われた「全国豊かな海づくり大会 天皇皇后両陛下の行幸啓を記念して、両陛下がご覧になられた篠田桃紅「あゆみ」展出品作品から7点を展示します。

- 会 期…12月26日(日)まで
- 入館料…高校生以上300円、中学生以下無料
- 休館日…月曜日(休日を除く)、  
休日の翌日(土・日・休日を除く)
- 関連イベント  
作品鑑賞会 11月27日(土)  
午後1時30分～2時30分
- 開館時間…午前9時～午後4時30分  
※「岐阜～ふるさとを学ぶ日」に伴い、  
「文化の日(11月3日)」は無料開放します。
- 照会先…篠田桃紅美術空間 ☎23-7756

ひとひと  
女と男

## ともに自分らしく生きよう vol.74

### 父から子に食育を

### 男女共同参画社会

毎年、男女共同参画の意識啓発事業として『女と男さんかくセミナー』が開催されています。今年は、お父さんにも家事に参加してもらえるように「父と子の料理教室～パパと作るおやつとランチ～」が3週にわたって開催されました。父親が子どもと一緒に簡単なおやつとランチを作るのですが、それだけでなく、栄養士から食育の話も聞くことができました。

子どもは、いつも母親が料理を作る姿を見ていると思いますが、お父さんのそういった姿を見ることは少ないと思われます。栄養士の話によると、料理を作る姿を見せてあげることがもちろんのこと、子どもにお父さんの食べ物の思い出を作らせてあげることが大切だということです。

たとえば、簡単なことから始めて、おかしの外袋や清涼飲料水の成分が書いてある表示を一緒に見てみるのもよいでしょう。清涼飲料水の表示にある炭水化物の量がその飲料水に含まれる砂糖の量になります。100ml中の炭水化物の量が書いてあるので、500mlのペットボトルに含まれる砂糖の量は5倍すれば出ます。ふだん何気なく飲んで清涼飲料水の砂糖の量を子どもと一緒に見てみるのも大変興味深いです。子どもとの会話も広がります。

やはり時間に余裕があれば、子どもと一緒に料理を作ることが一番の思い出になるのではないのでしょうか。そして、子どもに母親が料理をつくる姿だけでなく、父親が料理をつくる姿も記憶に残してあげたいものです。

さんかくサポーター<M>



<照会先> さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831